

# 市民とオール野党はひとつ

NO.6 2017.8.28 発行：事務局長 水内基成（広報・酢山 090-4923-0050）

8月10日 市民連合@新潟 第10回運営委員会



## 安倍政権に代わる「新しい政治」を

運営委員会では安倍改憲、解散総選挙の動き、野党共闘の進展、市民連合の役割等、活発に意見が出ました。

### ○今の情勢をどう見るか？

- ・安倍政権は国会で3分の2の議席がある中に憲法改定に取り組む覚悟である。
- ・安倍首相の「憲法改定のスケジュールありきではない」発言は東京都議選結果を始め、国民の闘いに押し込まれた結果である。
- ・「都民ファースト」が国政で形にならない中に秋にも解散総選挙があるのではないかと？

### ○安倍改憲をどう見るか？

- ・憲法9条の自衛隊明記の3項追加は「戦力不保持の2項の空文化」で憲法9条の破壊である。
- ・「改憲反対」をもっと有権者に受け入れやすい打ち出し方がないだろうか？
- ・「安倍改憲を許さない」これが軸となる。

### ○野党共闘確立への市民連合の役割について

- ・私たちがまとめて公表した「私たちの『新しい政治』のために—新潟県内野党6党への市民連合@新潟の政策要望書」は言葉の表現、具体的な政策等、よくできているのではないかと？
- ・仙台市長選では「候補者選定」「政策」の面で新潟の闘いが教訓となった。
- ・政策というよりも「どういう社会に住みたいか」「新しい日本という国の形」を示していかないと受け入れられないのではないかと。
- ・この政策要望書を野党と一緒に討議して練り上げていく事が今、大事だ。



### 森ゆうこ・国会内外で闘ってます！（番外編・ママたちの焦燥）

8月20日(日)、子育て中のママやパパたちが「森ゆうこお話し会」を開いてくれました。昨年の参議院選挙で「僕たちの選挙プロジェクト(僕セン)」を立ち上げて初めて選挙運動に参加し、上越市で自民党候補に8,000票余り勝利する原動力の1つとなった若い人たちです。

会場は山間地の古い民家。手作りの「森さんおかえり ありがとう」「たのむね ゆうこばあば」などの横断幕と、10年味噌で作った美味しい夏野菜のお味噌汁。何よりも子どもたちやママたちの笑顔に迎えられて、通常国会や閉会中審査でオーバーワーク気味だった心も体もすっかり元気になりました。選挙事務所ではまだママのおなかの中にいたあかりちゃん(生後8か月)との嬉しい初対面もありました。

中心メンバーは6年前の原発事故の後、「子どもたちに放射能フリーの給食を」と活動を始めたものの、行政にも政治にも真面目に取り上げてもらえず悩んでいたママたちです。当時国会で給食の安全確保に孤軍奮闘していた私と縁あって勉強会を一緒に行って以来、ゆっくりと絆を深めてきました。

「これからどのような活動で支えていけばいいのか」という質問に、「今まで通り、自然に、オシャレに、カッコいいな参加してみたいな」という活動を。SNSでネットワークを新潟県、日本中に広げてほしい」と的はずれな答えをした私。帰り際に代表者から「ママたちは焦っている。戦争への道をまっすぐに突き進むような法律が次々に成立して、このままの活動で子どもたちの未来が守れるのかと。」と聞き、改めてママたちの切なる願いに奮い立ちました。ばあば 頑張るからね！

## 第2回 森ゆうこさんと「政治」をしゃべる会(7月27日)



80名の参加で昨年12月に続いて2回目の「しゃべる会」が水内共同代表の司会で開催されました。

通常国会終了1か月で森ゆうこさんは参院農水委員会での「加計学園問題」で厳しい追及のドラマを生々しく報告しました。特に安倍首相が「加計学園の獣医学部申請を知ったのは新設が認められた1月20日」と国会で発言したことの欺瞞を2年前のH27年4月2日に愛媛県今治市職員2人が官邸を訪問して首相秘書官と面談していることを膨大な資料で明らかにし、「最初から加計ありき」の事実を暴き出していく経過を熱く語りました。

最後に森さんは「国民の側に立つまっとうな政治を行う政権をもう一度打ち立てよう。新潟の経験を生かして」と訴えました。

### 県内各地で野党共闘促進の取組み



## 新発田市

「安保法制の廃止をめざす新発田市民の会(市民の会)」と「オールしばた平和と共生」は7月15日、新発田市カルチャーセンターにおいて『共謀罪』の廃止を求める新発田市民集会を開催しました。市民の会は、安保法制については毎月19日に市内2ヶ所で抗議のスタンディングを行い、共謀罪については廃案を求めて二度学習会を開催

してきました。

共謀罪の廃止をもとめる市民集会は、この度の政府与党の強行採決を受けて、あらためて野党と市民による共同行動で、共謀罪NO!と「安倍退陣、改憲阻止」を求めて取り組んだものです。当日は民進、共産、社民の各党代表と森ゆうこ参議院議員が参加しました。森議員は、「加計問題」について今治市から入手した資料をもとに、安倍政権の独善的体質を厳しく批判するとともに、次期衆院選については「安倍一強を許さず、野党と市民はひとつで、共謀罪廃止に向けて結集しよう」と呼びかけました。

集会は最後に、安倍退陣を求めるアピールを全会一致で採択。これを受けて、主催二団体は県内6野党に、衆院各選挙区において野党統一候補擁立実現に向けて早急に取り組むよう「要請書」を送りました。(高野秀男)

### 新潟4区 野党6党と市民の意見交換会(仮称)

県内の野党共闘の運動を4区から広げていきたい!

○日時 9月17日(日)

○時間 会場は未定(25日の4区市町村代表者会議で決める)

主催 新潟4区平和団体連絡会

### 加茂市 野党共闘一周年記念集会

○日時 10月6日(金)18:30

○会場 加茂市中央コミュニティセンター

○来賓(予定) 森裕子参院議員、市民連合@新潟(佐々木共同代表参加確認)、小池市長

### ○主催 加茂市市民連合

昨年の参院選挙での「加茂連絡調整会議」の名称を改めて、市民と野党の共闘行動を継続発展させていく組織に発展。